

アビリンピックやまがた（山形県障害者技能競技大会）

〈 ビルクリーニング（初級） 〉 公表課題

禁止事項

- 1 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはいけません。
- 2 他の選手やスタッフの妨害をしてはいけません。
- 3 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはいけません。
- 4 故意に備品や機材等を毀損させてはいけません。
- 5 その他、大会運営や競技実施に支障をきたす恐れがある行為等をしてはいけません。

一般的な注意事項

〈 共通 〉

- 1 課題は、「弾性床清掃及び机上清掃」で、競技コートは、「弾性床清掃及び机上清掃」2コートを
使用します。競技の順番は、競技委員が決定します。
- 2 作業面積は、16 m² (4×4m)、幅木による区画とし、幅木の上には壁があるものとして作業を行っ
てください。
- 3 作業場所にある机は、移動させないでください。
- 4 規定時間が定められています。8分（10分で打ち切りする場合があります。）
- 5 作業開始指示は、競技委員が行います。競技者は、挙手または「はじめます」と申告してスター
トしてください。競技が終了したら、挙手または「終わりました」と申告してください。
また、作業ごとの入退出を行う際には、会釈（軽く挨拶や礼）をしてください。競技中は、
上記以外の声は出さないでください。

※ 始めと終わりの申告で声を出すことが困難な場合は、挙手のみで構いません。

6 課題において椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮して実施してください。

7 各課題では、支給された資機材以外使用できません。

8 使用した資機材は、競技委員の指示に従って後片付けを行ってください。

9 競技の採点は、作業準備・作業動作(手順)・仕様誤り・作業態度・作業時間の5つの面から審査し、加算方式により行います。

10 競技者は、作業に適した服装をしてください。

<課題 弾性床清掃及び机上清掃>

1 床の材質は、塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。

2 作業は、床面の除塵及び机上拭き作業です。

3 本課題で使用する資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてありますので、不足がないか点検してから使用してください。

4 モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに競技者自身で調節してください。

5 乾式モップ用のクロスは、競技者が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。

6 クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部に、モップの柄は作業カートの所定の位置にそれぞれ競技開始前にセットしてください。

7 床のごみは、「おがくず」を50ml程度まいたものとします。

※コート全体にごみがあるものと考え、競技を行ってください。

【資機材一覧】

1. 競技会場に準備されているもの

品名	寸法又は規格	数量
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
作業標示板		1個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本
小型ぼうき	30 cm幅用	1本
乾式モップヘッド	63 cm	1個
文化ちりとり	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個
タオル	無地 水拭き用 (青色) 1枚、 無地 から拭き用 (白色) 1枚	2枚
ダスタークロス	69 cm幅の不織布	1枚
ビニール袋	ごみ箱用替袋	1枚
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台

2. 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量
作業着(上・下)		1着
作業帽又は三角巾		1個
作業靴		1足

※持参するものは上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは差し支えない。

課題 弾性床清掃及び机上清掃（作業時間：8分）

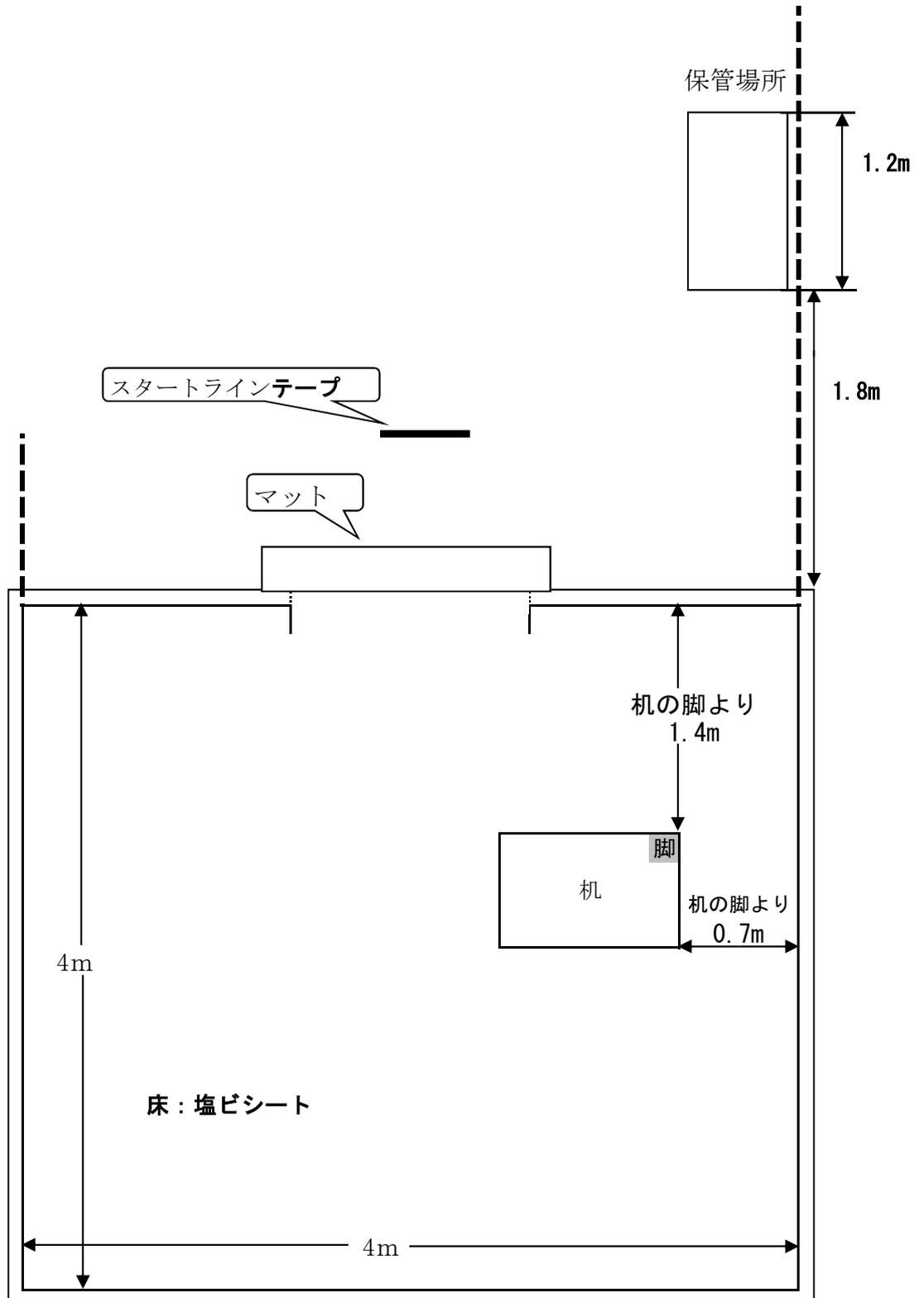
作業仕様

作業工程	作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
<p>しきざい じゅんび 資機材の準備</p>	<p>さぎょう ひつよう しきざい ・作業に必要な資機材（タオル・モップ等）は、すでに作業カート（以下カート）上部に準備されている。</p> <p>①ワンタッチモップ柄（以下柄）の長さを調整し、カートの所定の場所にセットする。</p> <p>②ダスタークロスを乾式モップヘッド（以下ヘッド）に装着し、カート上部に置く。</p>	<p>ひつよう しきざい およ ・必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。</p> <p>しきざい かぶそく な ・資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。</p>	<p>しきざい てんけん 資機材の点検</p> <p>しゅうりょうご きょうぎ 終了後、競技スタッフの指示に従い、所定の位置に立つ。</p>
<p>きょうぎかいし あいさつ 競技開始の挨拶</p>	<p>しよてい いち た きょうぎいん 所定の位置に立ち、競技委員の始めの合図で「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。</p>	<p>かたて あ いちれい 片手を挙げ、一礼する。</p>	<p>さぎょうかいし しんこく 作業開始を申告する。</p>
<p>さぎょうじゅんび 作業準備</p>	<p>ほかんぼしよ さぎょう カートを保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業標示板を立てる。</p>		
<p>にゅうしつ あいさつ 入室の挨拶</p>	<p>いりぐち しつない む 入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。</p>	<p>しつれい いちれい 「失礼します」と、一礼して入室する。</p>	
<p>じょじんさぎょう 除塵作業 かんしき (乾式モップ)</p>	<p>そうちやく ①ダスタークロスを装着した乾式モップヘッドは、入口の養生マットの上でモップの柄に取り付ける。</p>	<p>え せんたん おやゆび ・柄の先端には親指を添える。</p> <p>へん ひろ ほう ・ヘッドの辺は広い方を先行させる。</p>	<p>ごみは、おがくずを50ml程度均等にまいてある。</p> <p>てんけん さい こえ 点検の際に声をださないこと。</p>

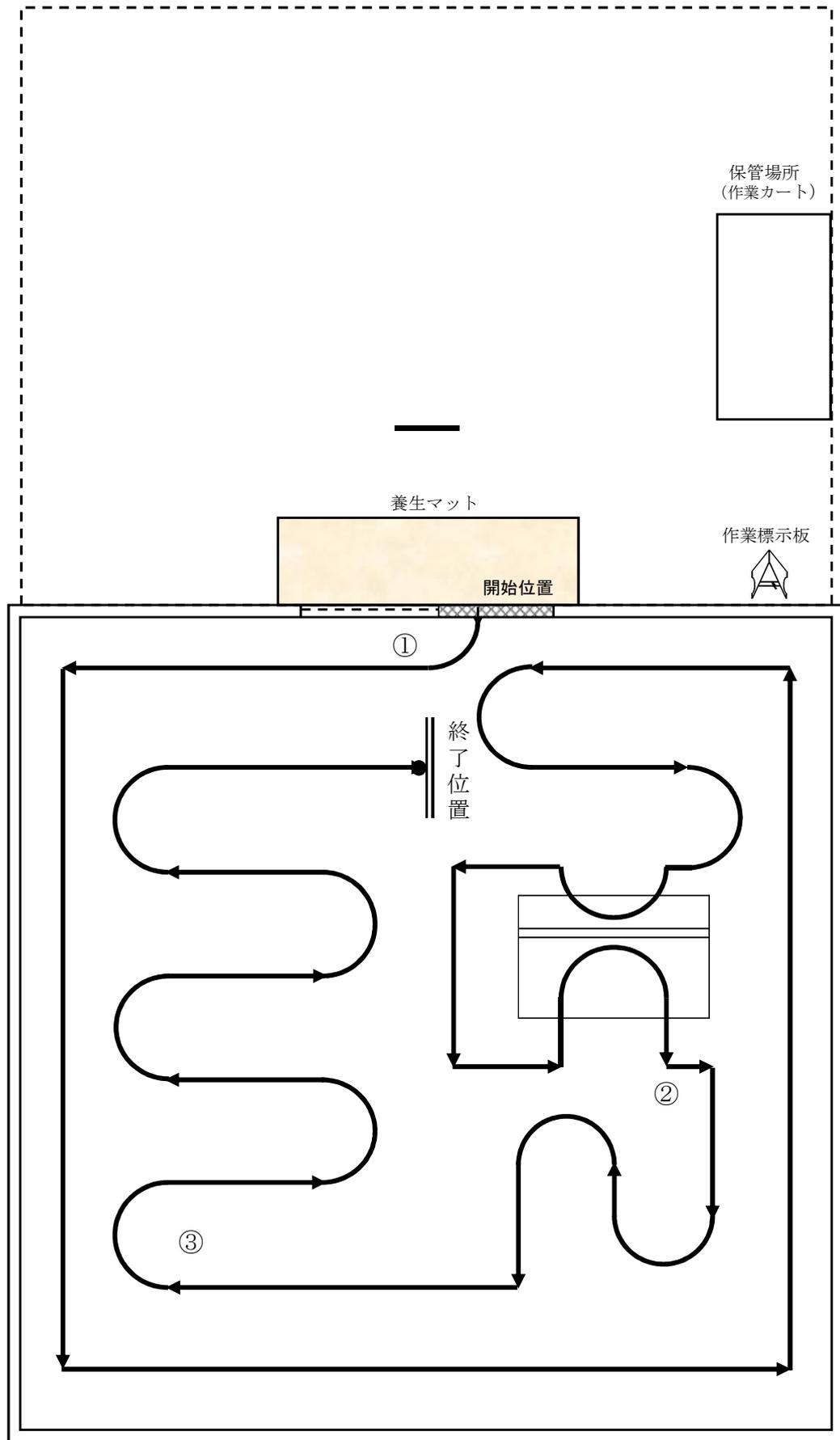
<p>じょじんさぎょう 除塵作業 かんしき (乾式モップ)</p>	<p>② 乾式モップで、外から入口を 除塵し、入室する。</p> <p>③ 室内での作業手順は、乾式モ ップ作業手順 (13 ページ) の とおりに行う。</p> <p>④ ごみは、前進しながら出口に 向かって1箇所に集める。</p> <p>⑤ ヘッドを柄から外す。</p> <p>⑥ 使用済みのダスタークロス をヘッドから外し、カートの中 に収納する。</p> <p>⑦ 柄とヘッドをカートに戻す。</p> <p>⑧ 小型ぼうきと文化ちりとり を使用し、集めたごみを回収 する。</p> <p>⑨ ごみの取り残しがないか 点検する。</p> <p>⑩ 小型ぼうき、文化ちりとりを カートに戻す。</p>	<p>・ 入口のごみを踏まな いように足場を確保す る。</p> <p>・ ヘッドは、床から離さ ない。</p> <p>・ 使用済みダスターク ロス、カートの袋の中 に入れる。</p> <p>・ ごみの取り残しがあ る場合は、小型ぼうきと 文化ちりとりを使用し 回収する。</p> <p>・ ヘッドは、カート上部 に、スポンジ面を上 にして、邪魔にならないよ うに置く。</p>	
<p>きじょうふ 机上拭き</p>	<p>① 青色のタオルを八折にし て持つ。</p> <p>② 机の上を青色のタオルで 水拭きした後に、白色のタ オルでから拭きを行う。</p>	<p>・ タオルが汚れたら、 きれいな面を出して拭 く。</p> <p>・ 机の縁を含めて、 四隅から中央へと拭 く。</p> <p>・ 横拭き・縦拭きを行 う。</p>	

<p>てんけん 点検</p>	<p>ゆびさ また もくしてんけん おこな 指差し又は目視点検を行う。</p>	<p>しきざい もど わす ・資機材の戻し忘れ、 ごみの取り残しなどの てんけん おこな 点検を行う。</p>	<p>てんけん さい こえ 点検の際に声をださ ないこと。</p>
<p>たいしつ あいさつ 退室の挨拶</p>	<p>でぐち しつない む たいしつ 出口にて、室内に向かって退室 あいさつ おこな の挨拶を行う。</p>	<p>しつれい 「失礼しました」と いちれい たいしつ 一礼して退室する。</p>	
<p>しきざい かたづ 資機材の片付け</p>	<p>さぎょうひょうじばん しゅうのう 作業標示板をカートに収納 ほかんぼしょ もど し、カートを保管場所に戻す。</p>		
<p>しゅうりょう あいさつ 終了の挨拶</p>	<p>しよてい いち た しゅうりょう 所定の位置に立ち、終了の あいさつ おこな 挨拶を行う。</p>	<p>お どう 「終わりました」等の い しひょうじ おこな 意思表示を行う。</p>	<p>さぎょうしゅうりょう しんこく 作業終了を申告す る。</p>

標準配置図(モデル)



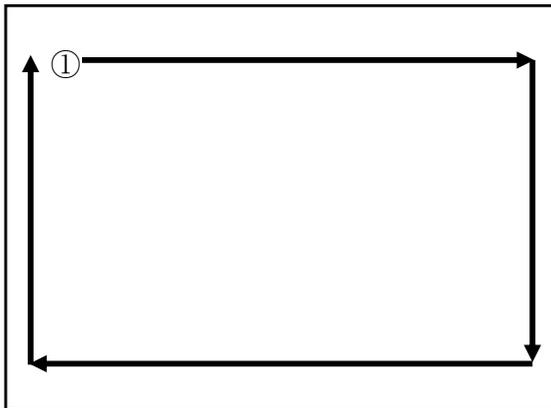
乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドを振る回数ではありません

机上拭き作業手順

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆とした方法でも構いません。



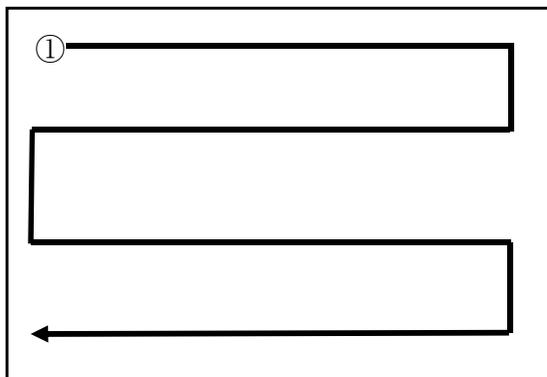
縁(机の4辺)の拭き方

※.選手は審査員に正対し動線図に示された場所に立つ(縦拭き・横拭きも同様)

①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



作業者の立位置



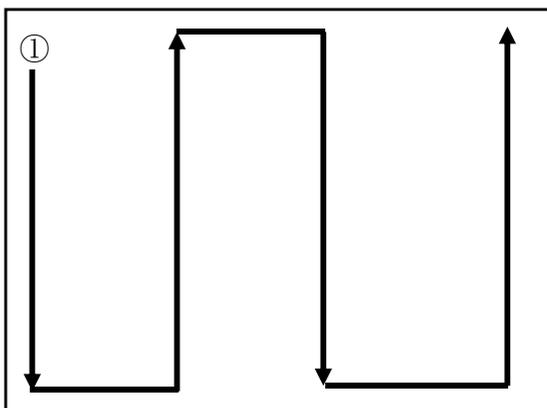
中央の拭き方

②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)

※.適宜タオルの面を変えながら拭く。



作業者の立位置



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

※.適宜タオルの面を変えながら拭く。



作業者の立位置